

## ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会

会 長 染 谷 昌 志

周囲の木々の緑が一段とさわやかに感じられ、本格的な夏の到来が待たれる頃となりました。高教研の会員の皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。一学期末を迎えて、学校行事をはじめとする校内外の業務に、ご多忙な毎日が続いていることと存じます。

さて、去る 6 月 5 日、本年度第一回役員会において役員の新補充が行われ、本部役員につきましては、副会長及び監事のお二人を新たにお迎えしました。また、地区支部長と教科部会長の方々にも異動がありました。本年度の当会の運営につきまして、役員の方々、地区支部・教科部会の事務局の方々のご協力を切にお願い申し上げます。さらに、会員の皆さま、また関係の方々には、本会への一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年度の高教研の事業につきましては、役員会において、事業計画、予算等が承認され、いよいよ活動を開始することになりました。事業内容等は本号に掲載してありますが、本年度から大会参加料に 300 円の値上げをお願いすることになりました。本会の円滑な運営のために、この点についてのご協力を頂きますようお願い申し上げます。本年度は、30 周年の記念事業の次の 1 年目の年であることから、高教研の組織として飛躍への大切な第一歩を踏み出すこととなります。会員の皆さまには、各学校における日常の実践と研究を通しての当会への積極的なご参画をお願いいたします。

今まさに、新しい時代に即応した教育の見直しが求められるときに入っていました。とくに高校では、個に応じた多様な教育が重視され、新教育課程の編成とともに、学校週五日制や生徒減少期などの動きの中で、取り組むべき課題が次第に鮮明になってきております。すでに高校教育改革のための国の施策が具体的に示され、個性を重視した魅力ある学校の創造への動きが全国的に見られてきております。この教育改善の流れにおいて、新しい改革の学校への定着と、現行の学校教育の全般的な見直しとのかかわりについて注目しておく必要があります。新たな試みを学校の中に定着させるとしても、学校教育の一部手直しにとどまる場合があります。課題解決の真の意味は移行期における意識改革にあると考え、新たな視点から学校教育の在り方を根本的に検討し、地についた理論と実践から、変るべきものと残るべきものを焦点化していくことが求められます。こうした問題意識に立つての検討を経るべきならば、残るべきものについても、それぞれ望ましい変質を受けているものと考えられます。

高教研の活動も、社会の変化に対応する高校教育を目指し、家庭や地域との連携の下での理論と実践を積み重ねていくことが望まれます。生涯学習体系への移行の中では、教える側にあっての先生方一人一人は、すぐれた生涯学習の実践者であります。「学ぶ者」の先達として、生徒それぞれが「学ぶ者」として進んでいく道筋を示していくこととなります。この場合その道筋となるものは、明確に書かれたものを示すのではなく、生徒にとって何となく自分の生き方に関係があり、しかも大切なように見えるというもので、そこに自分の将来を賭けてもよいと自ら判断させるものであることが望まれます。

さらに、教科学習においては「教科の人間化」ということが検討に値します。そこでは生徒一人一人が自らの持つ力を、教科の中でたしかめ、結実させるようなかかわりをもたせることが狙いとなります。仲間との相互関係の中で、お互いのよさ、強さが受け入れられ、認められながら、生徒自身が教科の学習に価値を認め、充実感を得ることができるような、強力な援助体制を組みたいものと思います。生涯学習時代においての高校教育の果す役割について、会員の皆さまからの創意あるご提言を頂きたいと願うものです。

平成 5 年度は、教育改革の大きな流れの中で、各高校においてそれぞれの学校課題の解決と望ましい教育の在り方について具体的な実践が行われる意義ある年になると思われまします。このようなときに、高教研が教科部会や各支部の活動を軸に、各種の事業を全道の先生方との密接な連携の下に推進していくことができますよう、皆さまの絶大なご支援をお願いいたします。本会の事業への積極的なご参加をお願いし、併せて皆さまのますますのご活躍をご期待申し上げます。

去る6月5日の午後2時より、ホテルアカシヤにおいて、本年度第1回役員会が開かれました。全道から各教科部会長さんと地区支部長さんが集まって、平成4年度事業の実施報告・平成5年度事業計画の審議、役員補充などが行われました。以下、その概要をお知らせ致します。

- (1) 平成4年度 経過報告
- 平4.3.31 平成3年度 事業実施報告書提出 (道)
5. 6 平成4年度 会員加入登録依頼
- 23 第1回 役員会 案内
- 25 平成4年度 事業実施計画書提出 (道)
6. 5 本部事務局会議 (第1回役員会 議案書審議)
- 13 第1回 役員会 (ホテルアカシヤ)
7. 6 会員登録締切、会員名簿整理・集計
- 7 会報第57号 発行 部会テーマ・会場決定
- 8.20 第2回 役員・教科部会事務担当者会議 案内
- 9.16 本部事務局会議 (第2回 役員・教科部会事務担当者会議 議案書審議)
- 19 第2回 役員・教科部会事務担当者会議 (ホテルアカシヤ)
- 10.12 大会要項原稿締切
- 16 「第30回 研究大会要項」編集開始  
参加申込書・参加証印刷発注
- 26 講師派遣依頼状・委嘱状 発送
- 30 第30回研究大会 運営会議 案内
11. 4 後援依頼状 (道教委・市教委・校長協会) 発送 道教委公報掲載依頼状発送
- 10 「大会要項」・「参加申込書」発送
- 16 研究紀要論文原稿・研究調査原稿締切
- 17 研究紀要第30号編集開始
- 18 本部事務局会議 (第30回研究大会 運営会議 議案書審議)
- 28 第30回研究大会 運営会議 (ホテルアカシヤ)  
研究大会祝辞依頼状・同役員委嘱状・同派遣依頼状・同助言者依頼状・派遣依頼状 (道教委・市教委・各教育局・道研・市研・理科教育センター・その他) 来賓・報道関係者案内状発送
12. 6 研究大会資料編集完了・印刷発注
- 10 第30回研究大会参加申込締切
- 11 参加者集計、参加者名簿整理・印刷発注、研究大会資料初校
- 14 本部事務局会議
- 21 研究大会運営最終点検 (厚生年金会館との打合わせ)
- 研究大会資料最終校正・参加者名簿初校
- 28 研究大会資料発送 (道教委・市教委・全体集会・各教科部会の講師)
- 5.1. 6 本部事務局会議・諸準備・会場との打合わせ・総点検  
講師・司会者・事務局打合わせ (厚生年金会館)
- 7 第30回北海道高等学校教育研究大会 全体集会・功労者表彰  
創立30周年記念祝賀会  
同 記念誌発行
- 8 第30回北海道高等学校教育研究大会 教科別集会
- 18 大会終了礼状発送
- 19 第3回役員会 案内
2. 2 本部事務局会議 (第3回役員会議案書審議)
- 6 第3回 役員会 (ホテルアカシヤ)  
平成5年度 地区支部長・教科部会長役員補充依頼
- 3.10 研究紀要第30号・会報第58号 発行
- 31 平成4年度 事業実績報告書提出 (道)
- (2) 平成4年度 事業実施報告
- ア 会報 第57号 発行 (7月7日)
- イ 第30回北海道高等学校教育研究大会  
第1日目 全体集会 (平成5年1月7日)  
北海道厚生年金会館  
第2日目 教科別集会 (平成5年1月8日)  
札幌市民会館他
- ウ 創立30周年記念功労者表彰
- エ 同 記念誌発行
- オ 同 記念祝賀会
- カ 研究紀要 第30号発行  
規格 オフセット B5版 175頁  
発刊日 平成5年3月10日  
掲載論文 13編  
国語1 社会1 理科1 英語3 家庭1  
農業1 工業1 商業2 水産1 教職一般1
- キ 研究調査 無し
- ク 会報 第58号発行 (平成5年3月10日)  
内容 第30回研究大会 内容報告



### ③ 講 師

#### ・全体集会

今年度、午前・午後お二人の講演を予定しています。なお、希望講師および希望演題があれば本部事務局へ申し出て下さい。

#### ・教科別集会

各教科別部会で決定して下さい。なお、委嘱状・依頼状は本部事務局から発送します。

### ④ 大会参加料

会員 2,000円 非会員 3,300円

受付方法・参加証の配付方法については、第2回役員会・教科部会事務担当者会議（9月18日）議案書に掲載します。

### イ 研究紀要 第31号発行

規 格 B5版 約200ページ

発行予定 平成6年3月10日

原稿締切日 平成5年11月15日

- ① 教科は、1教科につき、本部所定の400字詰原稿用紙70枚以内。（原稿の集約・審査は各教科部会長の担当です）
- ② 教職一般は、1編につき、本部所定の400字詰原稿用紙30枚以内。（原稿の集約・審査は地区支部長の担当です）
- ③ 特定の学校や個人に偏らないように御配慮ください。
- ④ 紀要抜刷50部を執筆者にお渡しします。なお、50部以上希望の方は、各個人で印刷業者と直接連絡をとってお申込みください。
- ⑤ 論文執筆者は本研究会の会員に限ります。

### ウ 研究調査（平成5年度の申込受付について）

#### ① 申込方法

本年度採用予定は3～4編で、申込みは、教科関係については、各教科部会、教職関係については各地区支部で取りまとめ、それぞれの部会長、支部長を経由して本部事務局へ9月18日までに連絡してください。

#### ② 調査の費用、期間

費用は、1年で完結するものには40,000円、2年継続のものには各年度20,000円の調査費が配当されます。期間は、1年で完結、2年継続の2種です。

#### ③ 研究調査の報告

研究調査の報告は、研究紀要に掲載しますので、内容を本部所定の400字詰原稿用紙20枚程度に要約し教科部会長または地区支部長を経て、11月15日までに本部事務局に提出してください。

### ④ 研究調査の申込資格

本研究会の会員に限ります。

※以上のイ、ウに関する連絡及び原稿送付（書留）は下記宛にお願いします。

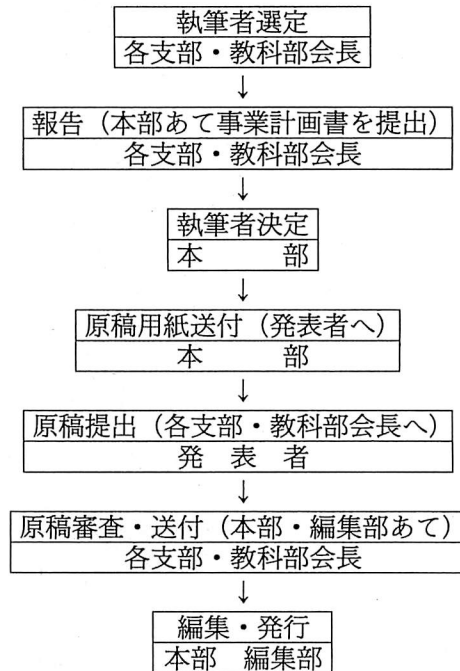
〒064 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5-18

北海道札幌旭丘高等学校 高教研・編集部

喜多清彦

TEL 011-513-2238（高教研専用）

※なお、研究紀要の発表までの諸手続については、次の「流れ図」を参照して下さい。



### エ 会報 第59号・第60号発行

#### ① 第59号の内容

- ・第31回研究大会 全体計画  
教科別部会テーマ
- ・研究紀要 第31号 論文応募要領
- ・研究調査（研究紀要掲載）募集要領
- ・役員（地区支部長・教科部会長・各事務担当者）名簿一覧
- ・地区支部・教科部会 各事務局一覧
- ・本部事務局 機構・組織、担当、業務一覧
- ・平成5年度 事業計画
- ・発行予定日 平成5年7月9日

#### ② 第60号の内容

- ・第31回研究大会 内容報告
- ・地区支部活動状況
- ・発行予定日 平成6年3月10日

#### (4) 会員登録及び名簿作成

- ① 各学校から名簿が2部、地区支部事務局校に送付されます。うち1部は地区支部事務局校で保管、残り1部を本部事務局に送付してください。(用紙が不足の場合は、恐縮ですがコピーしてご使用ください)
- ② 地区支部事務局校では、地区支部内の教科ごとの名簿を2部作成し、本部事務局あてお送りください。(本部で分類し、1部は第2回役員会事務担当者会議で教科部会へ配布、他の1部は本部事務局で保管します)
- ③ 会員登録料は、下記へ振り込んでください。  
〔銀行振込〕北海道銀行旭ヶ丘支店  
口座番号 (普) 0483353  
口座名義人 北海道高等学校教育研究会  
会長 染谷 昌志  
〔郵便為替〕小樽7-2737
- ※追加登録の場合その都度、同様に処理し、本部事務局にお知らせください。
- ※地区支部事務局校より、本部事務局あて送付願う書類等。
- ・学校ごとの会員名簿 1部(様式5-1)
  - ・教科部会ごとの会員名簿 2部(様式5-2)
  - ・地区支部会員登録集計表 1部(様式5-8)
  - ・登録料(会費)

#### (5) その他

- ① 地区支部事務局校より、本部事務局へ送付願う書類
- ・様式 5-4 地区支部役員名簿  
6月23日 締切
  - ・ // 5-1 会員名簿(配布済)  
7月1日 締切
  - ・ // 5-2 教科部会名簿 同
  - ・ // 5-8 会員登録集計表 同
  - ・ // 5-6 地区支部事業計画書  
9月18日 提出
- ② 教科部会事務局校より、本部事務局へ送付願う書類
- ・様式 5-5 部会テーマ・会場  
6月23日 締切
  - ・ // 5-3 教科部会役員名簿  
同 締切
  - ・ // 5-7 教科部会事業計画書  
9月18日 提出

平成5年度 北海道高等学校教育研究会 年間行事予定表

月	日	曜	本 部	備 考	地 区 支 部	教 科 部 会
3	31	水	平成4年度 事業実績報告書提出(道)			
5	7	金	平成5年度 会員加入登録依頼	校長会で配布		
	21	金	平成5年度 事業実施計画書提出(道)			
	28	金	本部事務局会議	第1回役員会議案書審議		
6	5	土	第1回役員会 (ホテルアカシヤ 14:00)		第1回役員会	第1回役員会
	11	金	会員登録締切		会員登録締切	
	23	水	部会テーマ・会場			テーマ・会場決定
	28	月			役員名簿提出締切	役員名簿提出締切
7	1	木	会員名簿の整理と集計		会員名簿提出締切	
	9	金	会報59号発行	内容:全体・部会研究テーマ、研究紀要 研究調査・役員名簿・事務局一覧		
9	10	金	本部事務局会議	第2回役員会・教科部会事務担当者会議 議案書審議		
	18	土	第2回役員会・教科部会事務担当者会議 (ホテルアカシヤ 14:30)	内容:事業計画・実行予算・会員加入・ 全体集会・教科別集会(第31回研 究大会運営・日程・会場他)	第2回役員会・事務担当者 会議	第2回役員会・事務担当者 会議
					事業計画書提出	事業計画書提出
10	12	火	大会要項原稿締切	教科別講師派遣依頼、委嘱状発送		大会要項原稿提出締切
11	10	水	大会要項発送			
	15	月	研究紀要論文原稿締切編集開始		研究紀要論文原稿締切	研究紀要論文原稿締切
	17	水	本部事務局会議	第31回研究大会運営会議議案書審議		
	27	土	第31回研究大会運営会議 (ホテルアカシヤ 14:30)	助言者(文部省)依頼状発送	第31回研究大会運営会議 (事務担当者のみ出席)	第31回研究大会運営会議 (事務担当者のみ出席)
			大会資料原稿締切編集開始			大会資料原稿提出締切
			第31回研究大会参加申込受付開始	各校単位で申込		役員、係・助言者派遣依頼 状、委嘱状発送
12	10	金	第31回研究大会参加申込締切			
1	12	水	第31回研究大会 全体集会 (北海道立札幌中島体育センター別館)		第31回研究大会	第31回研究大会
	13	木	第31回研究大会 教科別集会 (札幌市民会館他)			// 教科別集会
	17	月	関係方面に研究大会礼状発送			
	28	金	本部事務局会議	第3回役員会議案書審議		
	31	月	会報第60号原稿締切編集開始			会報第60号原稿提出締切
2	5	土	第3回役員会 (ホテルアカシヤ 14:30)		第3回役員会	第3回役員会
			平成6年度 地区支部長・教科部会長役員改選依頼			
3	10	木	研究紀要第31号・会報第60号発行	内容:第31回研究大会報告		



平成5年度 北海道高等学校教育研究会 {地区支部  
教科部会} 事務局一覽

地区支部

支部名	支部長名	事務局校	事務局担当者名	郵便番号	事務局校住所	電話番号	FAX番号
石狩	三原 正士	札幌平岡	長谷川 伶一	004	札幌市豊平区4条6丁目13番1号	(011)882-8122	882-8142
渡島	小川 賢三	函館工業	吉谷 啓一	041	函館市川原町5-13	(0138)51-2271	51-2273
桧山	佐々木 春夫	熊 石	白鳥 信一	043-04	爾志郡熊石町鮎川103番地4	(01398)2-3645	2-3382
後志	齋藤 公生	寿 都	首藤 義美	048-04	寿都郡寿都町字新栄136番地	(01366)2-2144	2-2289
南空知	玉山 治義	岩見沢東	久保田 攻	068	岩見沢市東山町112番地	(0126)22-0175	22-6883
北空知	関原 冲	滝川北	齋藤 秀夫	079-04	滝川市江部乙町1118番地	(0125)75-2431	75-2507
上川	今野 豊	旭川東栄	笈川 晃一	078	旭川市東旭川町共栄15番地	(0166)33-5566	33-5829
留萌	安田 健七	苫前商業	田上 幸雄	078-36	苫前郡苫前町字古丹別273番地4	(01646)5-3442	5-3441
宗谷	佐野 圭彦	豊 富	吉川 悦夫	098-41	天塩郡豊富町字上サロベツ475番地	(0162)82-1709	82-1194
網走	小鹿 米吉	北見緑陵	瀬戸 潔	090	北見市大正255番地2	(0157)36-4536	36-4667
釧路	笹山 平	釧路湖陵	渡辺 忠男	085	釧路市緑ヶ岡3丁目1番31号	(0154)43-3131	43-3134
根室	西村 清司	羅 白	中野 一信	086-18	目梨郡羅白町礼文町9番地3	(01538)7-2481	7-3359
十勝	河合 詔安	本 別	石塚 健夫	089-33	中川郡本別町弥生町49	(01562)2-2052	2-2052
胆振	吉田 嘉彦	室蘭工業	吉毛利 正也	050	室蘭市宮の森町3丁目1-1	(0143)44-5712	44-5712
日高	佐藤 重喜	平 取	小林 茂	055-01	沙流郡平取町本町109番地2	(01457)2-2709	2-2849

教科部会

教科名	部会長名	事務局校	事務局担当者名	郵便番号	事務局校住所	電話番号	FAX番号
国語	小澤 正人	北広島	須摩 守	061-11	札幌郡北広島町字共栄305-3	(011)372-2281	372-2281
社会	望月 重幸	札幌月寒	目黒 富士雄	062	札幌市豊平区月寒東1条3丁目	(011)851-3111	851-3112
数学	今西 義紀	札幌真栄	細部 人志	004	札幌市豊平区真栄236番1	(011)883-0465	883-1302
理科	藤田 郁男	札幌丘珠	伊藤 紘	065	札幌市東区北丘珠1条2丁目589-1	(011)782-2911	782-8370
保体	○菅原 道行	札幌南陵	玉置 重実	061-22	札幌市南区藤野5条10丁目478番地1	(011)591-2101	591-2101
養護	武田 哲	札幌北	佐藤 菜子	011	札幌市北区北25条西11丁目	(011)736-3191	736-3193
芸術	中野 友房	札幌開成	滝沢 光郎	065	札幌市東区北22条東21丁目1-1	(011)781-8171	781-5629
英語	佐藤 弘	札幌稲北	山下 寧	006	札幌市手稲区手稲山口254番地	(011)694-5033	694-5074
家庭	○佐藤 祝	札幌新川	山崎 節子	001	札幌市北区新川5条14丁目	(011)761-6111	761-7911
農業	角田 順三	岩見沢農	加藤 希一	068	岩見沢市並木町11	(0126)22-0130	22-5362
工業	高橋 淳一	札幌琴工	塚本 彰男	063	札幌市西区発寒13条11丁目3番1号	(011)661-3251	661-3252
商業	小松 信夫	札幌北商	高塩 光明	005	札幌市南区石山1条2丁目15番1号	(011)591-2021	591-2023
水産	勝木 茂	小樽水産	平冲 道治	047	小樽市若竹町9番1号	(0134)23-0670	23-4553
○印の教科部会長校住所							
		○保体…菅原 道行(札幌星園)		064	札幌市中央区南8条西2丁目	(011)511-4561	511-4894
		○家庭…佐藤 祝(札幌篠路)		002	札幌市北区篠路372-67	(011)771-2004	771-2013

平成5年度 北海道高等学校教育研究会 本部役員名簿

〔会 長〕 染 谷 昌 志 (札旭丘)  
 〔副会長〕 高 橋 淳 一 (札琴工)  
 〔 〃 〕 松 本 光 (札 東)  
 〔 〃 〕 久 保 敏 (札 南)  
 〔監 事〕 梅 澤 彰 (札新川) 川 岸 育 夫 (札東商)  
 〔顧 問〕 梶 浦 善 次 磯 貝 芳 司 尾 崎 信 夫  
 小 柳 六 郎 高 畠 惇 彦 本 間 恒 太

〔地区支部長〕

〔石 狩〕 三 原 正 士 (札平岡)  
 〔渡 島〕 小 川 賢 三 (函 工)  
 〔桧 山〕 佐々木 春 夫 (熊 石)  
 〔後 志〕 齋 藤 公 生 (寿 都)  
 〔南空知〕 玉 山 治 義 (岩 東)  
 〔北空知〕 関 原 冲 (滝 北)  
 〔上 川〕 今 野 豊 (旭東栄)  
 〔留 萌〕 安 田 健 七 (苫前商)  
 〔宗 谷〕 佐 野 圭 彦 (豊 富)  
 〔網 走〕 小 鹿 米 吉 (北緑陵)  
 〔釧 路〕 笹 山 平 (釧湖陵)  
 〔根 室〕 西 村 清 司 (羅 白)  
 〔十 勝〕 河 合 詔 安 (本 別)  
 〔胆 振〕 吉 田 嘉 彦 (室 工)  
 〔日 高〕 佐 藤 重 喜 (平 取)

〔教科部会長〕

〔国 語〕 小 澤 正 人 (北広島)  
 〔社 会〕 望 月 重 幸 (札月寒)  
 〔数 学〕 今 西 義 紀 (札真栄)  
 〔理 科〕 藤 田 郁 男 (札丘珠)  
 〔保 体〕 菅 原 道 行 (札星園)  
 〔養 護〕 武 田 哲 (札 北)  
 〔芸 術〕 中 野 友 房 (札開成)  
 〔英 語〕 佐 藤 弘 (札稻北)  
 〔家 庭〕 佐 藤 祝 (札篠路)  
 〔農 業〕 角 田 順 三 (岩 農)  
 〔工 業〕 高 橋 淳 一 (札琴工)  
 〔商 業〕 小 松 信 夫 (札啓商)  
 〔水 産〕 勝 木 茂 (樽 水)

〔本 部 事 務 局〕

〔事 務 局 長〕 越 野 孝 〔編 集 部 長〕 喜 多 清 彦  
 〔事務局次長企画・運営〕 増 田 忠二郎 〔全体集会運営一部長〕 鈴 木 徹  
 〔事務局次長会計〕 岳 田 正 子 〔全体集会運営二部長〕 高 橋 勝 昭  
 〔総 務 部 長〕 佐 藤 公 征 〔会 計 部 長〕 上 村 望  
 〔庶 務 部 長〕 武 田 恵 〔事 務 局 員〕 高 木 百合子

〔住 所〕 〒064 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5番18号

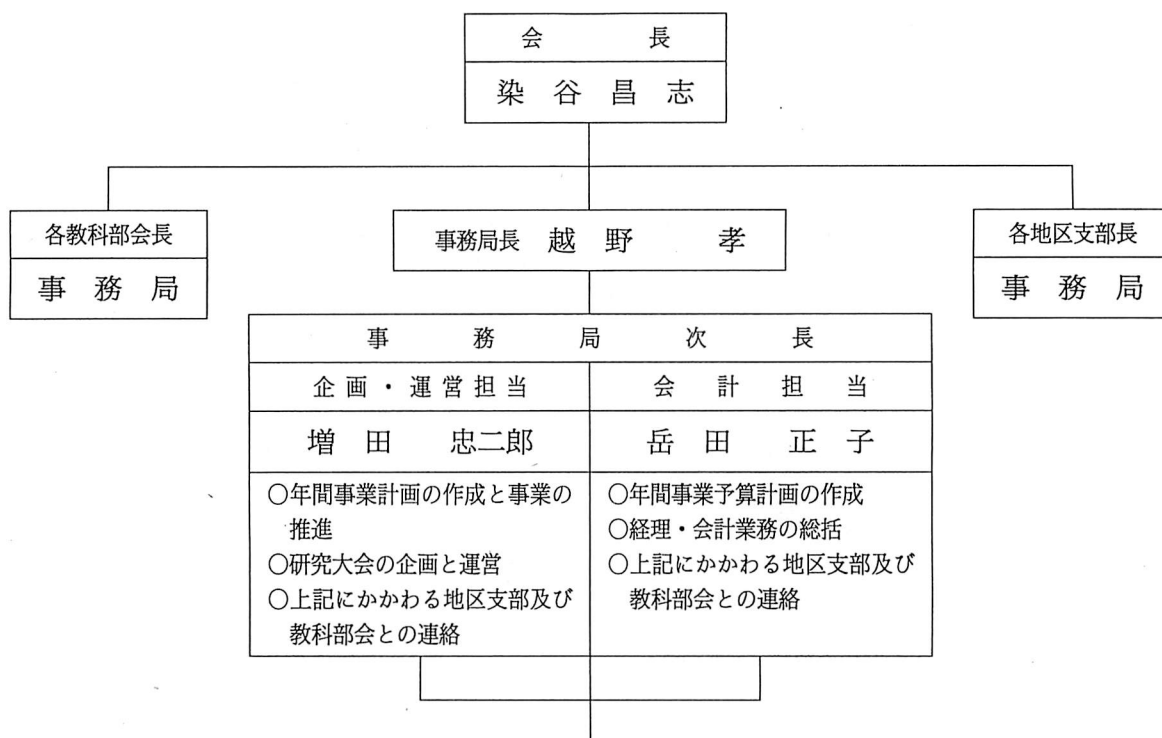
北海道札幌旭丘高等学校内

北海道高等学校教育研究会 Tel011-513-2238

FAX011-561-1061 (札幌旭丘高校)



平成5年度 北海道高等学校教育研究会 本部事務局組織



区分	総務部	庶務部	編集部	全体集会運営一部			全体集会運営二部		会計部
業 務	○諸会議の準備・運営 ○会員登録名簿の作成・整理 ○会員数の集計	○諸文書の作成・発送 ○諸文書の記録等の整理・保管 ○研究大会要項資料の作成	○研究紀要の受付・整理 ○研究調査の受付・整理 ○会報・紀要等の編集・整理	○全体集会運営にかかわる下記の業務 ・受付 ・案内 ・その他			○全体集会運営にかかわる下記の業務 ・会場設営 ・掲示、放送 ・接待、救護		○各事業予算書の作成 ○金銭出納 ○物品の購入・借入
部長	佐藤 公征	武田 恵	喜多 清彦	鈴木 徹			高橋 勝昭		上村 望
副部長	小池 勲	黒宮 輝夫	中野 繁男	三輪 礼二郎			尾崎 正則		高木百合子
担当	石井 直衛 奥山 直毅	小川 清廣 武田 圭司 佐藤真理子 川村 剛一 奥井 則行	相澤 壽一 前川 慈彦 細井 純 宗石 佳道 広川 雅之	西井 雅宏 上西 劭 江口 学 近藤 正博 堀井 雅弘 三井 貴之 村端 悟	平山 斌一 矢野 仁 松尾 英樹 宮田 佳幸 松田 五郎 阿部益太郎 須貝 則昭	近藤 暢男 成澤 正義 石澤健太郎 笹原 勇雄 芳賀 秀樹 久保田法順	中垣 正史 須藤喜久男 菊池 義子 松本 英夫 野崎 哲夫	野上 光子 塚原 英代 (事務職員) (事務職員)	
事務局員	高木 百合子			屋敷 健一	池田 實				

平成4年度 北海道高等学校教育研究会 会員加入状況

(年度末)

支部	国語	社会	数学	理科	保健	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	合計
石狩	231	257	227	273	178	37	109	272	55	9	38	70	1	1,757
渡島	42	39	42	43	37	7	9	39	10	12	14	22	37	353
桧山	13	9	12	13	13	3	4	16	6	5	8	9	0	111
後志	20	25	25	26	26	4	4	27	10	27	5	32	32	263
南空知	16	22	28	27	14	5	9	25	6	21	11	23	0	207
北空知	27	34	17	17	18	5	7	16	9	19	16	47	0	232
上川	56	66	62	40	47	13	19	59	17	39	26	44	0	488
留萌	12	11	11	7	17	4	6	9	2	7	4	12	1	103
宗谷	14	17	10	10	20	3	2	17	3	3	1	11	0	111
網走	50	54	35	40	43	8	9	40	11	14	12	26	0	342
釧路	30	36	26	28	42	6	12	43	5	6	10	7	5	256
根室	12	15	16	17	14	4	5	18	6	12	0	12	0	131
十勝	34	48	32	45	37	7	19	45	11	35	6	23	0	342
胆振	35	48	40	39	42	7	14	50	13	6	39	27	0	360
日高	10	15	9	8	12	1	1	9	4	8	2	7	0	86
合計	602	696	592	633	560	114	229	685	168	223	192	372	76	5,142

(備考)

年度	57	58	59	60	61	62	63	平元	平2	平3	平4
中間	6,232	6,220	6,235	6,226	5,804	5,709	5,618	5,566	5,471	5,243	5,129
年度末	6,255	6,246	6,245	6,231	5,859	5,729	5,645	5,586	5,482	5,269	5,142

# 北海道高等学校教育研究会会則

## 第1章 総 則

第1条 (名称) 本会は北海道高等学校教育研究会という。

第2条 (事務局) 本会の事務局は会長の所属校に置く。

## 第2章 目的および事業

第3条 (目的) 本会は高等学校の各教科などに関する事項を研究し、会員相互の研修と識見の向上につとめ、高等学校教育の振興を図ることを目的とする。

第4条 (事業) 本会は前条の目的を達成するための次の事業を行う。

- |              |                         |
|--------------|-------------------------|
| 1 研究会の開催     | 3 機関誌の発行                |
| 2 講習会、講演会の開催 | 4 その他本会の目的達成に必要と認められる事業 |

## 第3章 組織および役員

第5条 (会員) 本会の会員は北海道高等学校職員、教育委員会職員および高等学校教育に関心を有するものをもって構成し、一人一部会とする。

第6条 (教科部会) 第4条の事業を遂行するために教科部会を置く。この部会の運営は別に定める。

第7条 (地区支部) 地区支部は北海道高等学校長協会の支部単位とする。この部会の運営は別に定める。

第8条 (役員) 本会に次の役員を置く。

- |       |    |         |     |
|-------|----|---------|-----|
| 1 会 長 | 1人 | 4 地区支部長 | 若干人 |
| 2 副会長 | 3人 | 5 教科部会長 | 若干人 |
| 3 監 事 | 3人 | 6 顧 問   |     |

第9条 (役員を選任) 会長、副会長および監事は教科部会長および地区支部長により選任し、顧問は推薦することができる。

- 1 教科部会長は各教科の部会から1人を選任する。
- 2 地区支部長は各地区ごとに1人を選任する。

第10条 (会長、副会長の職務権限) 会長は本会を代表し、会務を統括し、会の責任を負う。副会長は会長を補佐し、会長に事故のあるときは、その職務を代行する。

第11条 (教科部会長の職務権限) 教科部会長は各部会を代表する。

第12条 (地区支部長の職務権限) 地区支部長は各地区を代表する。

第13条 (監事の職務権限) 監事は本会の業務、会計を監査する。

第14条 (役員任期) 役員任期は2年とする。ただし重任することができる。

第15条 (役員会) 役員会は毎年1回定期に行ない会長が召集する。ただし必要に応じ臨機に開催することができる。役員会で討議する事項は次の通りとする。

- 1 予算および決算
- 2 会則の変更
- 3 その他重要事項

第16条 (経費) この会の経費は会員の納める会費およびその他の収入をもってこれに当てる。会費の徴収細則は別に定める。

第17条 (会計年度) この会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌3月31日に終わる。

付 則 本則は昭和38年5月25日より施行する。